

やります！ **電話一本** 出前の政治

神奈川県議会議員

# 杉山のぶお



杉山のぶお議会報告

県政レポート 平成27年新年度号

## ■骨格予算も過去最大の予算となる 自然災害対策・子育て新制度等への対応に重点

神奈川県議会第1回定例会は3月13日に閉会、4月の県知事選挙を控え、義務的経費や継続事業に絞った「骨格予算」と成りましたが、新年度からはじまる「子育て支援新制度」等の社会保障関係費が膨らみ、一般会計は総額1兆9,495億円の過去最大規模となりました。

今回の予算を県民1人あたりにすると、1人あたり21

万4,224円、このうち教育費に使うお金が6万5,877円、高齢者や障害者、児童などの福祉に使うものが、4万1,810円、警察に使うものが2万0,587円、道路や市街地整備などの土木費が1万0,075円、医療に使うものが、4,725円などとなっています。

### ●予算の規模

一般会計	1兆9,495億円	(4.5%増)
特別会計	1兆3,023億円	(10.6%増)
企業会計	1,123億円	(8.4%増)
<b>総額</b>	<b>3兆3,641億円</b>	<b>(6.3%増)</b>

※億単位未満切り捨て。(カッコ内は2014年当初比)

### ●平成27年度 主な新規事業

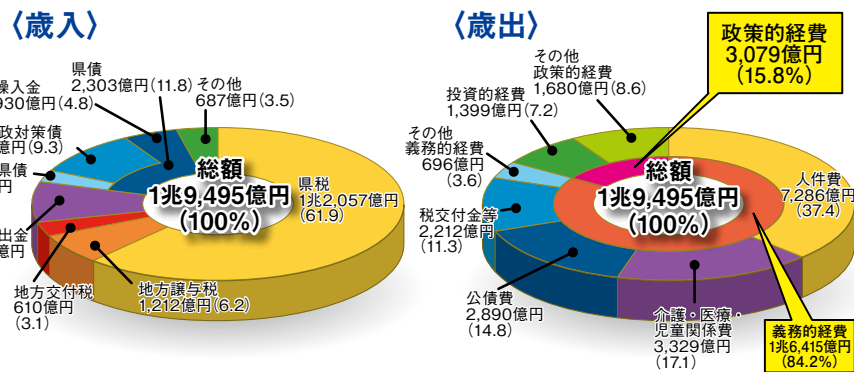
- ◆子ども・子育ての新たな支援(398億円)
- ◆治験体制の強化(3億5,458万円)
- ◆火山災害監視機能強化事業費(6,171万円)
- ◆市町村減災推進事業費補助(3億円)
- ◆県庁4庁舎の地震・津波対策(100億円)
- ◆県立体育センター・総合体育センター再整備調査(4,800万円)
- ◆県立相原高校移転(20億4,973万円)
- ◆オリンピック・パラリンピック事前キャンプ誘致(1,000万円)

## ■神奈川のエンジンを回す

経済のエンジンをまわすとは、「新しい企業を誘致する+雇用の創出=新しい街づくり」という意味です。県内では、国家戦略特区、京浜臨海部ライフイノベーション特区、さがみロボット特区の3つが動き始めました。我が川崎からは、殿町地区周辺(キングスカイ・フロント)を中心にライフサイエンス研究開発など施設ゾーン、医工連携ゾーン、食・バイオ連携ゾーンを構え、医療の最先端技術が研究・開発され世界に向けて発信されます。

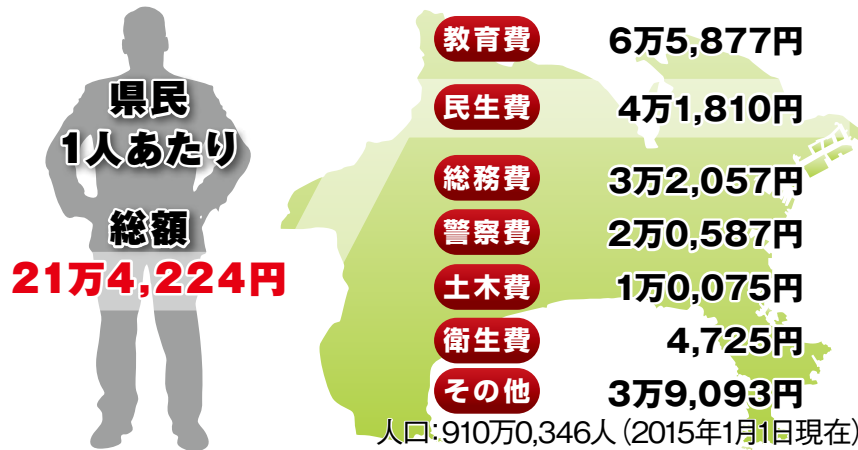
超高齢社会を乗り越え、「健康長寿日本一」を目指すため、かつての重厚長大と言われた京浜臨海部の我が川崎は、医療を中心とした『人創り・モノ造りの街』に生まれ変わる時代を迎えます。

杉山のぶおは地方の声を国に届け、神奈川・川崎の街づくりを推進していきます！



※( )内は%。項目は主なもの。億単位未満切り捨てのため、合計が一致しない場合があります。

### ●2015年度当初予算の使いみち



杉山のぶお事務所 〒210-0836 神奈川県川崎市川崎区大島上町25-5

# ☎044-344-5555

# 小田栄新駅設置で川崎が変わる

## ～新しい鉄道に夢を乗せて～

JR南武支線(通称:浜川崎線)の浜川崎～川崎新町間に「(仮称)小田栄新駅」が2016年度中に設置されることが発表されました。これを起爆剤に、川崎区が大きく変貌することに期待を寄せています。

南武支線は東海道貨物支線が走る路線で浜川崎から先は、国家戦略特区である「京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略特区」である塩浜・殿町を經由し、羽田空港、東京へとつながっています。

国は2020年の東京オリンピック・パラリンピック開催に向け、羽田空港の年間発着回数を最大3万9千回へと拡充します。外国人観光客やビジネス客の大幅増を見込み、東京側では貨物線を利用した新線を整備し、将来は東京から羽田を18分で結ばれるようになります。

今度は川崎・横浜、そして県西部方面の旅客化を議論する番です。貨物線と旅客線の併用化は私が初当選以来訴えてきたテーマであり、平成15年と25年の過去2回試乗会を実施しました。

小田栄新駅をはじめとした南武支線は、羽田、東京都心方面、横浜方面へのアクセスが向上する路線となる日もいよいよ現実味を帯びてきました。南武支線は八丁畷から川崎に直通するアプローチ線の整備構想もあります。一日も早い実現化に向けて取り組むとともに、皆様からのご意見をお待ちしております。



神奈川県議会議員

杉山のおお

やります! 電話一本 出前の政治

☎044-344-5555

〒210-0836 神奈川県川崎市川崎区大島上町25-5